

長野県庁周辺の整備方針 - ポイント -

この方針は、県の総合5か年計画に掲げる「地域活力の維持・発展」の一環として、多様な行政需要に的確に対応するため、県庁周辺の老朽化した県有施設や県有地の有効活用を検討し、今後の県庁舎及び周辺の一体的な整備の推進に向けた方針として策定します。
また、同計画中の「安全・安心な社会づくりの推進」にある、警察機能の充実・強化を図り、県民の命と安全・安心な生活を守るための警察本部庁舎建設推進の基盤となるものです。

- 対象地区の目標・視点・方針

目標 風格と潤いを感じられる県政拠点の構築

必要な4つの視点



視点ごとの方針

地区内の県有地について県が自ら整備を行うとともに、その他のエリアについては、方針に基づき一体的な整備の波及を促していきます。

視点① 県政機能

基本方針
警察や県行政施設の集約・再編を行うことにより、安全・安心で県民に開かれた県政拠点としての機能強化を図る。

取組方針

- 警察本部庁舎の移転集約と機能強化
- 県有施設の集約再編と機能拡張
- 駐車場の集約再編と効率的運用

視点② みどり・景観

基本方針
周辺の自然環境や景観と調和し、官庁集積地に相応しいみどり豊かで趣のある都市空間を創出する。

取組方針

- 官庁集積地に相応しいみどり豊かで趣のある景観の創出
- 潤いと安らぎを与えるみどりの創出
- 県民に開かれたみどりのエントランス空間の創出

視点③ 働き方

基本方針
多様なニーズや価値観等の変化に応じた働き方やワークライフバランスを実現できる環境整備を図る。

取組方針

- すべての方の多様な働き方や活動などをサポートする機能の導入

視点④ 環境

基本方針
2050年脱炭素（ゼロカーボン）の達成に向けた取組やヒートアイランドの緩和への取組を図る。

取組方針

- 県有施設におけるゼロエネルギー化の推進
- ヒートアイランドの緩和への取組

- 対象地区の取組項目図

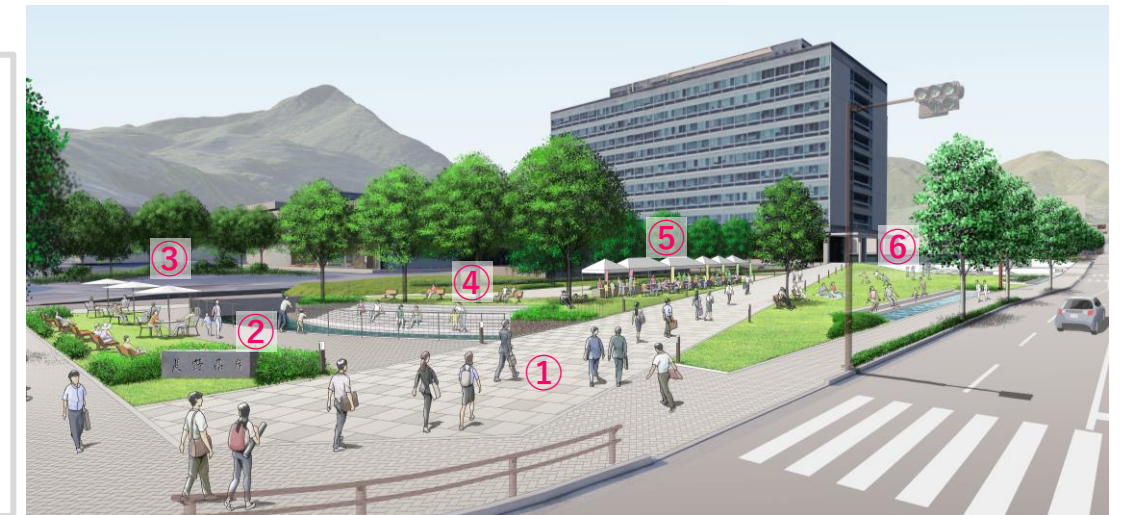
方針に基づく主な取組項目は以下のとおりです。
※パブリックコメント等のご意見も踏まえ、多くの人が足を運びたいような空間をつくるという観点についても、当方針に位置付けています。（視点②-3、③-1、右イメージ図 など）

エリア全体に共通する取り組み

- 視点②-2 主な取組項目**
◇みどりの連続性を意識した街路、広場等への樹木等の配置
- 視点③-1 主な取組項目**
◇すべての方が日常的に使えるような、足を運びやすい空間づくりの検討（例：カフェや打合せができるフリースペース等）
- 視点④-1 主な取組項目**
◇建築物のゼロエネルギー化と継続的な運用

県庁前広場イメージ図

- ① 県庁舎への安全でわかりやすいアプローチ空間
- ② 周辺住民等が、善光寺用水沿いを散策
- ③ パラソルの下で、食事や屋外モバイルワーク
- ④ 用水を眺めながら、自分の時間をゆったりと過ごせる親水空間やベンチ
- ⑤ 県産品などをPRするマルシェ等のイベントを開催
- ⑥ 親子が遊んだり運動したりと自由に楽しめる芝生空間



行政機能集約拠点

- ▶県行政推進の拠点として、分散、老朽化する県有施設を集約再編し、安全・安心で県民に開かれた風格と潤いを感じるシンボル空間を創出
- ▶県議会から廃止の申し入れがあった長野県議会議員会館の敷地を有効活用

- 視点①-2・3 主な取組項目**
- ◇分散、老朽化する県有施設等の集約再編
 - ◇県有施設等の集約再編後の有効活用
 - ◇県庁周辺の県有地を活用した駐車場の新設や再配置

- 視点②-3 主な取組項目**
- ◇県庁舎への安全で分かりやすいアプローチ空間・交差点部の空間の創出
 - ◇歴史・自然を感じながら県民が憩い、交流できる広場空間の創出（例：ベンチや親水スペース等を配置し、潤いを感じながら休息したり人が集ってイベントを開催したりできる空間）

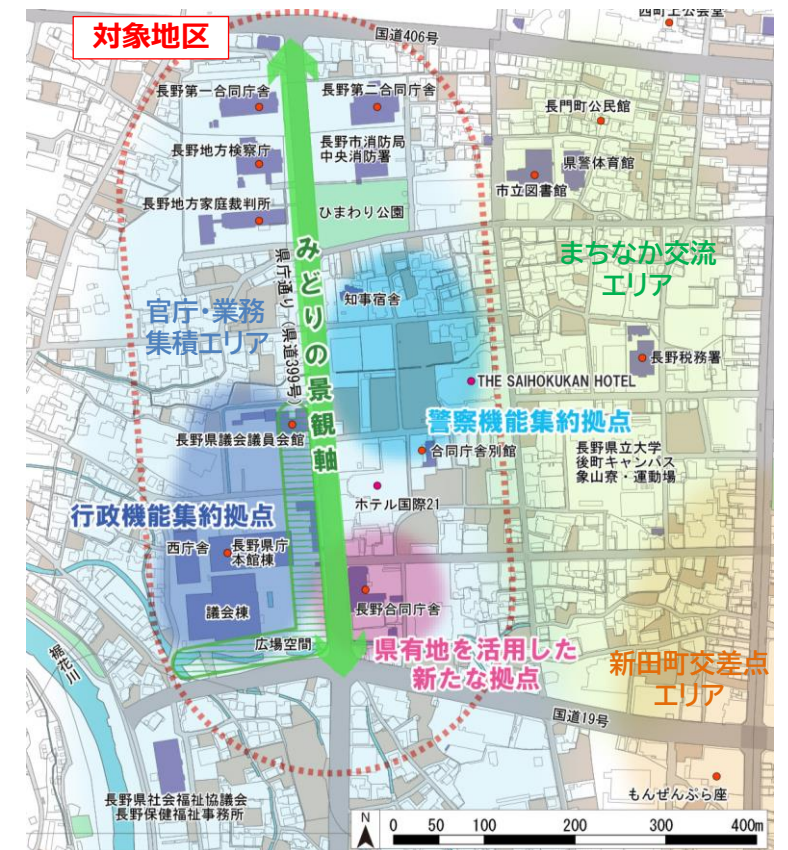
警察機能集約拠点

- ▶県民の安全・安心な暮らしを守る主要な拠点として、分散する警察機能を集約再編

- 視点①-1 主な取組項目**
- ◇警察本部庁舎の新設と災害対策機能の強化
 - ◇周辺環境を踏まえた上で、緊急輸送道路（県道399号線）と直接接続するなど、アクセスを強化

県有地を活用した新たな拠点

- ▶県有地を活用し、人が集い、交流する場を創出



みどりの景観軸

- ▶街路樹や沿道景観、快適な移動ができる歩行空間等により対象地区の風格あるシンボル軸を創出

- 視点②-1 主な取組項目**
- ◇借景となる大峰山、旭山等と調和のとれた景観づくり
 - ◇みどりの軸（街路樹）の統一感のある再整備と適切な管理

